



～健康長寿・自立支援プロジェクト～
ファルマモデルルーム「自立のための 3 歩の住まい」

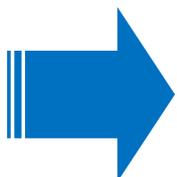


経済産業部産業革新局

人生100年時代の社会的課題（平均寿命と健康寿命）

区分	平均寿命	健康寿命	差
男性	80.95歳	72.63歳	8.32歳
女性	87.10歳	75.37歳	11.73歳

自立が困難な**約10年間**をどのように過ごすのかが課題



ファルマの新たなプロジェクトで解決
「健康寿命・自立支援プロジェクト」

健康長寿・自立支援プロジェクト

○人生100年時代の老化による疾病・機能低下に対応するため、平成30年度から実施

○4つの戦略

戦略
1



老化現象の予測・予防
(ゲノム医療)

戦略
2



補助器具の情報提供・開発
(支援機器開発)

戦略
3



医療介入支援
(医療機器開発)

戦略
4



人生100年時代の住宅整備
(理想の住環境の提案⇒**3歩の住まい**)

3

ファルマモデルルーム「自立のための 3歩の住まい」とは

名称

ファルマモデルルーム
自立のための 3歩の住まい
PHARMA MODEL ROOM

開設日
設置場所

令和3年3月オープン
場所：ファルマバレーセンターエントランス

コンセプト

○**3歩から部屋と住まいの機能を考えるコンセプトモデル**



ベッドから3歩でトイレに行ける

ベッドから3歩で浴室に行ける

○20年後に向けた**共同研究室**

特徴

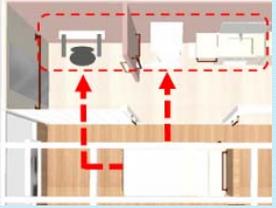
- ① 3歩から考える
- ② 医療介護部屋（感染症対策）
- ③ ロボット化・AI化
- ④ 家族・社会との絆

4

「自立のための 3歩の住まい」 - 4つの特徴

特徴1 3歩から考える

3歩の空間設計



生活補助天井レール

高機能ディスプレイ



次世代ディスプレイ (有機EL)



特徴4 家族・社会との絆

特徴2 医療介護部屋 (感染症対策)

空気清浄

床・壁素材

⇒ファルマ仕様として、
新開発



高機能ベッド



歩行トレーニング
ロボット

⇒新製品を特別展示

特徴3 ロボット化・AI化

取組の成果 - 企業コンソーシアムとの連携



県等と連携し、モデルルームを整備



本プロジェクトの趣旨に賛同した民間企業等が、
企業コンソーシアムを結成

モデルルームの活用

- ・20年後に向けた新機能等のアイデアの創発
- ・山梨県との連携による製品開発

富士山麓の美しい自然に囲まれたメディカル・ガーデン・シティで
世界一の健康長寿県を目指して「メイド・イン・Mt.フジ」を
日本へ、世界へ